

## 第5章 基本政策⑥ 安全・安心を実感できるまち【安全安心】

## 第1節 危機管理

## 施策1 災害に強いまちづくりの推進

基本計画  
掲載頁

120～122

|             |    |                                                 |                   |                                                                                                                                                                                                     |
|-------------|----|-------------------------------------------------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施策の<br>達成状況 | B  | A：順調に推移した<br>B：おおむね順調に推移した<br>C：進捗が遅れた          | 成果                | 備蓄品を計画的に購入するとともに希望のあった自主防災会に対して、活動費として自主防災組織育成補助金及び資機材整備費補助金を交付し、防災体制の充実を図った。<br>全61の自主防災会で防災訓練が実施され、実施回数及び参加者数も順調に上昇しており、防災に関する啓発物の配布や出前講座等の機会を捉えた啓発の成果が表れている。<br>消防団員数も増加しており、消防団車庫の更新も計画的に進めている。 |
|             |    |                                                 | 課題                | 地域の高齢化に伴う自主防災会のリーダーの担い手不足が懸念されるほか、避難行動要支援者の個別避難計画の作成が進められていない。<br>また、女性の視点を取り入れた防災体制の整備を進めていく必要がある。                                                                                                 |
| 今後の<br>方向性  | II | I：現状のまま継続<br>II：一部見直し等の余地がある<br>III：抜本的な見直し等が必要 | 成果・課題を踏まえた今後の取組方針 | 引き続き、市民への防災意識の啓発や、防災体制・消防体制を充実させるとともに、自主防災会のリーダーの担い手不足の解消や、長く懸案になっている個別避難計画の作成についても具体的に取り組んでいく。                                                                                                     |

## 【参考】施策領域ごとのKPI※1（重要業績評価指標）

| 項目                        | 現状値<br>(策定時点)         | 令和5年度                 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 目標値                   | 令和5年度時点<br>達成度※2 | 所管課   |
|---------------------------|-----------------------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-----------------------|------------------|-------|
| 防災訓練を実施する自主防災会数／実施回数／参加者数 | 61団体<br>34回<br>1,630人 | 61団体<br>43回<br>4,800人 |       |       |       |       | 61団体<br>70回<br>6,000人 | B                | 危機管理室 |
| 消防団員数                     | 187人                  | 192人                  |       |       |       |       | 235人                  | B                | 危機管理室 |
| 自主防犯パトロールを実施する団体数         | 78団体                  | 78団体                  |       |       |       |       | 91団体                  | C                | 危機管理室 |
|                           |                       |                       |       |       |       |       |                       |                  |       |
|                           |                       |                       |       |       |       |       |                       |                  |       |
|                           |                       |                       |       |       |       |       |                       |                  |       |
|                           |                       |                       |       |       |       |       |                       |                  |       |

※1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。

※2 【達成状況評価について】A：目標を上回るベースの指標値 B：目標値を達成するベースの指標値 C：やや遅れ気味

## 主な施策展開の進捗状況

| (1) 防災意識の啓発と防災行動力の向上                                                                     | 施策の進捗状況    | 評価の説明                                                                                                                                          | 所管部      | 所管課     |
|------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------|
| ○ 防災に関する情報を発信し、市民一人一人の防災意識の啓発と防災行動力の向上を図りながら、自主防災組織の活動及び防災リーダーの育成を支援します。                 | C（やや遅れている） | 町内会や自主防災会の防災訓練や出前講座を啓発の機会と捉えて、危機管理室職員の派遣を行った。また、自主防災会に対して、リーダー等養成講座を実施した。しかしながら、地域の高齢化に伴い、自主防災組織の担い手不足が懸念される。                                  | 危機管理室    |         |
| (2) 防災体制の充実                                                                              | 施策の進捗状況    | 評価の説明                                                                                                                                          | 所管部      | 所管課     |
| ○ 災害時の食糧や資機材の計画的な備蓄を推進するとともに、避難所の整備や防災設備、災害時の給水体制の充実を図ります。                               | B（おおむね順調）  | 財政状況を鑑み目標数を満たしていない備蓄品を購入を進めた。避難所運営を円滑に知るため、施設利用計画等の避難所に配備する資料の改善を行った。                                                                          | 危機管理室    |         |
| ○ 男女それぞれの視点を取り入れた防災対策を進めます。                                                              | C（やや遅れている） | 女性の視点を取り入れた備蓄品の購入や避難所運営体制整備が進まなかった。                                                                                                            | 危機管理室    |         |
| ○ 災害時における応援体制の強化のため、他の自治体や事業者などと災害時応援協定の締結を推進します。                                        | B（おおむね順調）  | 自治体及び約60事業所と災害時応援協定を締結している。連絡体制の情報共有や発災時の要請のための様式を決まっているが、連絡訓練などは行っていない。                                                                       | 危機管理室    |         |
| ○ 防災性の高い住環境づくりを推進するため、建築物の耐震診断や耐震改修を促進します。                                               | B（おおむね順調）  | 広報、市ホームページ、耐震説明会等を通じ、建築物の耐震化の必要性・重要性を普及啓発しつつ、補助制度により耐震診断18件、耐震改修12件の物件に対し、その費用の一部又は全部の助成を行い、耐震診断及び耐震改修を促進した。危険ブロック塀については、7件（築造5件、撤去2件）の助成を行った。 | まちづくり未来部 | 建築審査課   |
| ○ 災害時における大規模盛土造成地の滑動崩落による宅地地盤の被害を防止するため、一定の要件を満たす大規模盛土造成地について調査を実施し、官民が連携しながら適切な対応を図ります。 | B（おおむね順調）  | 第二次スクリーニング実施に向けた基本的な方針を決定した。また、令和6年度の設計業務委託に向けて、社会資本整備総合交付金の交付を受けるための準備及び手続を行った。                                                               | まちづくり未来部 | 都市計画課   |
| ○ 土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域並びに浸水想定区域の災害リスクを周知します。                                  | B（おおむね順調）  | 「新座市防災マップ・ハンドブック」及び「洪水・土砂災害ハザードマップ」の見直しを行い、増刷を行った。また、公共施設等への配架や市ホームページに掲載し、災害リスクの周知を推進した。                                                      | 危機管理室    |         |
| ○ 高齢者、障がい者や外国人などの避難行動要支援者に対する支援に関して、自主防災組織や消防団などと連携し、避難支援体制の充実を図ります。                     | C（やや遅れている） | 毎年度、地域の関係者に避難行動要支援者の名簿を提供している。しかしながら、個別避難計画の作成には至っていないため、左記の評価とする。                                                                             | いきいき健康部  | 長寿はつらつ課 |
|                                                                                          | C（やや遅れている） | 毎年度、地域の関係者に避難行動要支援者の名簿を提供している。しかしながら、個別避難計画の作成には至っていないため、左記の評価とする。                                                                             | 危機管理室    |         |
| ○ 災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、確実に情報が伝わるよう情報発信方法の充実に努めます。                                      | C（やや遅れている） | 防災行政無線のアナログ波の停止に伴い、放送内容が受信可能な防災ラジオの使用ができなくなった。現在、放送内容については、市公式LINEで通知できるようになったが、市公式LINEの登録者数が6,000人程度に留まっている。                                  | 危機管理室    |         |
| (3) 消防体制の充実                                                                              | 施策の進捗状況    | 評価の説明                                                                                                                                          | 所管部      | 所管課     |
| ○ 活力ある消防団づくりを目指し、市民への消防団活動の周知・啓発、消防団の加入促進や処遇改善を図るとともに、消防団員の技術の向上を図ります。                   | B（おおむね順調）  | 消防団活動を市HPに掲載することやイベント開催時に消防団員募集を実施するなどして周知や啓発を行っており、報酬額の引上げなどで加入促進や処遇改善を図っている。                                                                 | 危機管理室    |         |
| ○ 埼玉県南西部消防局と連携して、消防団の設備や装備品の充実を図るとともに、情報の伝達体制の強化を図ります。                                   | B（おおむね順調）  | 新座消防署と調整の上、訓練でポンプ車の操作方法や資機材の取扱訓練を指導してもらっている。                                                                                                   | 危機管理室    |         |
| ○ 迅速かつ安全な消防団活動が行えるよう消防団の分団車庫及び消防ポンプ車両の更新などの機能強化を図ります。                                    | A（順調）      | 消防団第五分団車庫を令和6年度、第二分団車庫を令和7年度に建替工事を行うよう進めており、消防ポンプ車についてもポンプ車更新計画に基づき更新を予定している。                                                                  | 危機管理室    |         |
| ○ 地域の消防力の充実を図るため、街角消火器の設置を進めるとともに、消火栓や防火水槽の整備・維持を行います。                                   | B（おおむね順調）  | 令和4年度に公設消火栓の点検を行い、令和10年度までに不具合のある消火栓修繕を完了できるよう進めている。また、消防水利を毎月、消防署で点検作業を行っている。                                                                 | 危機管理室    |         |